

といろ通信

2018年04月

第69号(卯月)

皆様、こんにちは！今月も恒例のといろ通信の時間がやって参りました。執筆担当はといろ木曜日スタッフの川澤岳也（カワザワ・タケヤ）です。どうぞよろしくお願ひします！

ところで私の名前、よく読み方を間違われます（苦笑）。それはちょっとしたコンプレックスなのですが、先日、といろの家族スタッフの方と話していて、その方も過去に自分の名前で色々あった、という会話になり、「自分だけじゃないんだ！」と思い、ちょっと心が軽くなりました。私だと、苗字に関する聞き間違いでは、「唐沢（カワサワ）さんですか？」と言われることがよくあります。その他にも、川田（カワタ）さんだの川島（カワシマ）さんだの・・・。名前については「ガク

ヤさんですか？」という風に言われたり、タクヤさん？と間違われます。先にコンプレックス、と書いたように、訂正するときには平常心で話せばよいのですが、つい心が乱れてしまって、口調が変わってしまいます。酷い時には中退した大学に通っていた頃、そのことでのいじめっ子に陰口を広められたことがあります。うーん、正直なところ、やっぱりスッキリと正しい名前で呼んでほしいですね。社会に出れば「そんなことで立ち止まっただけはいけない！」って言われてしまふんですが、何分名前は自己認識の基本なので、自分を認める行為が他の人より大変なのはツライです。他にも、からかいで良く言われたのが「タケヤブヤケタ」ですね。これもしんどいです。そういうことがあって、自分のアイデンティティを受け入れるのに大分時間がかかりました。ある程度自分を認めてからは、それにふさわしい体験がやってくるようになったと思います。そのためひきこもったのかも知れません。これまで私が書いたといろ通信にもそれに関連した場所

が出てきました。さて、どこでしょう？ヒントは高知県内の山間部です。スピリチュアルな話題に詳しい方はお分かりになるかもしれないかもしれません。それ以上は・・・、教えません（笑）。川澤と仲良くなったとき、飲み会とかで川澤の口が滑ったら分かるかもしれないですね。まあ、変身ヒーローに正体を聞くようなものだとだけは言っておきましょう。フッフ（「何だ、その意味ありげな態度は？」と言われても言えませんがなあー）。まあ、ぶっちゃけ珍しい名前なんですけど、同じ読みの名前のプロ野球選手がパ・リーグの某球団のホームランバッターとして活躍しているので、とりあえずはそれで満足しておきます。



〈途中休憩 といろのかき氷機です〉

そして、今回、ちょっと新しいことに挑戦しました。何の事はない、ガンプラ以外のプラモデルを作ってみたのですが、これが驚くほど楽に作れました。ジャンルは宇宙戦艦ヤマトなのですが、一個600円台のキットが40分もかからずにサクッと出来上がりました。接着剤を使わずにできたのですが、一応対象年齢は15歳以上になっていて、パーツの切り離しにもガンプラとは違って神経を使うところがありました。でも、はっきりに言って、楽勝でした。宇宙戦艦ヤマトは子供のころ地元でテレビ放映「再放送？」されていたので、機会があったらプラモデルとか作ってみたいなー、とは思っていたのですが、こんなに楽に作れるキットがあるなんて、世の中進んだものだなー、と思いました。キットを買ったのが、いつもの行きつけのお店ではなくて、普段と別の場所に買い物に行ったついでに寄って手に入れた、というのは、常連の店の人には内

緒です。「メンね、〇〇〇〇ねん！」



〈またしても途中休憩・いろいろのたこ焼き器です〉

そして今、愛媛・松山大学の石川良子さんの書かれた本を読み進めています。タイトルは『ひきこもりと家族の社会学』という題なのですが、石川さんは複数いる執筆者の内のお一人として原稿を書かれています。まだ途中までしか本を読んでいないのと、ちょっと内容が難しいのが相まって、ここで感想・及び書評をするということとは出来ないのですが、もし興味のある方がおられましたら、「こつこつという本もあるよ」というこ

とで、頭の片隅に留め置いていただけたら幸いです。

そういえば、この間、3月10日(土曜日)に高知県民文化ホールで行われた、「県民が選ぶ映画ベストテン2017」に参加してきました。当日は全部で3本の映画が上映されたのですが、自分が観たのは、そのうちの一本の「この世界の片隅に」でした。映画が始まってしばらくの間、「この映画って、もし実写で撮ったらセピア色なんだろうなー」というシーンが続いていたのですが、段々話が重たくなって、かなり心を揺さぶられる描写が続きました。舞台が戦時中から終戦直後にかけての広島・呉周辺なのですが、一庶民の女性とその生き方が実に丁寧に描かれていて、日常に戦争が忍び寄ってくる様が実にリアルに映し出されていました。あちこちで映画賞を取って話題になった作品なのですが、観てみて損はないと思います。ほのぼのした絵柄と緊迫した日常描写のギャップが印象的でした。と、何か映画業界の回し者みたいになってま

すが、機会があったらぜひご覧下さい。

最近あったことといえば、自分の心の傷を見つめるじよをやっています。自分でも過去にいじめに遭った時の事を振り返ることが出来ていなくて、その時のトラウマがぶり返ってきて、悪さをするんです。そのことが苦痛になってきて、「そろそろ心の整理をつけなきゃいかなー」とか思いつつ、前に進むことが出来なくて、日々が過ぎていました。で、この間の「つな・かん」N高知の時も自分の過去を話したのですが、これがまた複雑でドロドロしてるんですよ。自分でも「重たいなー、これ」と思っちゃうので、取扱注意、とか思いながら表現しています。出来るなら前に進みたいです。

〈では皆様、また来月！〉
居場所「という」の所在地は〒781・5102
高知市大津甲969-3です。
TEL・FAXは
088-821-6519

メールアドレス

aqw3dr9k@glbbe.ocn.ne.jp

または

skatoro1016@gmail.com

お便り、お待ちしております。
相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。

へいろいろスタッフからのお願い・初めて来所される方はどうぞお読みください

というは月・水・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています。もちろんアポなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただくと助かります。と、いろいろ近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試みに覗きにおいでしてくれたらと思います。最寄りのごさでん交通電停は「領石通」です。お菓子と飲み物など(麦茶・ジュース類)があります。漫画コーナーには「ジョジョの奇妙な冒険」文庫版第一部・第二部と第四部が揃っています。第三部を揃えるかは未定です・・・。漫画版「君たちはどう生きるか」もありますー